

「地域の伝承文化」とは

日本では「履物を脱いで家に上がる」、「箸でご飯やおかずを食べる」といったことに始まり、お正月やお盆にはいろいろな行事や食べ物があり、また冠婚葬祭には地方ごとに様々な“しきたり”があります。また、各地にその土地に結びついて伝えられている物語(民話)などもあります。こうした身近な生活様式や儀礼文化、民話などに着目して調査研究を行うのがこのコンテストです。

今までに多くの高校生が食べもの、行事や祭り・芸能、伝説や昔話、言葉などの「地域の伝承文化」に関心を寄せて調査研究を行いレポートを作成してきました。

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストは、高校生が居住する地域あるいは通学する高校の地域などで継承されている「伝承文化」に、自主的に目を向けて課題を決め、その内容を実際に調べたり、体験的に学んだりした結果をレポートとしてまとめたものを対象としています。

これによって地域文化の実態とその存在の意味を考えて、「この文化を誰が支えて未来に継承するか」という課題に向きあうのが目的です。多くの高校生が、こうした課題を見つけ、考え、文化継承に向けた活動をして欲しいと考えています。

応募概要

【応募期間】 2021年7月1日(木)～9月10日(金) 必着

【応募方法】 ●Web応募

応募フォームから必要事項を入力して登録を済ませてください。その後に、登録完了メールが届きますので、本文に記載のURLから作品をアップロードしてください。

- 登録完了メールをお送りしますので、contest2021@sclpa.jpからのメールを受信できるように設定してください。
- 教員、生徒のどちらからでもご応募いただけます。
- 作品のページサイズはA4とし、上部余白は20mm以上設けて作成してください。

●郵便

応募用紙に必要事項を記入し、レポートと併せてご応募ください。

- 他校同士で取り組んだ作品の応募はご遠慮ください。
- レポート枚数は自由、サイズはA4、片面印刷・クリップ止めとしてください。
- 映像作品は15分以内で作成し、USBに保存の上、お送りください。(返却不可)
- 学校などの大口応募の場合はまとめてお送りいただくことも可能、宅急便もご利用いただけます。

※応募に関する詳細は、高校生新聞オンラインでご確認いただけます。

【審査委員】 小川 直之(國學院大學教授) 大石 泰夫(國學院大學教授) 八木橋伸浩(玉川大学教授)
飯倉 義之(國學院大學准教授) 佐藤 美穂(國學院大學客員教授) 高橋 大助(國學院大學教授)
服部比呂美(國學院大學准教授)

応募部門

※1作品を2名以上で作成している場合は「団体応募」に該当します。

個人 地域文化 研究部門

地域の行事や祭りなど伝統文化の調査研究や継承の実践活動

個人 地域民話 研究部門

地域に伝わる民話の調査研究や継承の実践活動

学校活動 部門

学校やクラス単位での生徒による調査研究や活動実績に関する報告と、担当教員による活動を通じて生徒の「学び」がどのように向上したかについてのレポートを合わせたもの

(指導教員によるレポートはA4サイズで1枚以上を巻末に加えて提出してください。)

第17回

「地域の 伝承文化に学ぶ」 コンテスト

伝承文化を課題に
探究活動の取り組む
ポイントを解説
します

個人 地域文化 研究部門

個人 地域民話 研究部門

学校活動 部門

探究活動 攻略ガイド

もっと日本を。もっと世界へ。


 國學院大學 高校生新聞®

【作品の送付・問い合わせ先】

〒194-0022 東京都町田市森野1-34-10 高校生新聞社 コンテスト事務局 第17回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト係
TEL 042-724-2750 FAX 042-724-2860 E-mail contest2021@sclpa.jp



もっと日本を。もっと世界へ。

 國學院大學 高校生新聞®

step 1 テーマ(課題)を決めよう

- ①自分が今までに体験したことや、地域の文化や民話に関する興味・関心をもったことを紙にいくつも書きだす → **課題候補**
- ②書き出した内容について図書やWebを利用して概要を書き加える
- ③同じような内容のものを整理して課題候補が絞れたら、その中からひとつ選ぶ → **課題決定**

Point

- 応募作品の内容が「地域の伝承文化」であること
- 自らの視点で課題が立ち上がっているか
- ・図書館、インターネットを活用しよう
- ・気になった点、知りたいと思った点、問題点は？

step 2 課題の下調べをしよう

- ①課題について、掘り下げた情報収集を行う
 - 今までどんな研究が行われてきたか、どのように説明されているか など
- ②「①」で得た情報を整理してまとめる

Point

- 視野を広くして色々な情報を集めよう
- ・類似している情報はまとめ、カテゴリー分け

step 3 課題への取り組み手順を考えよう

- ①下調べした情報をもとに、「何」を「どのように」調べるか計画を立てる
 - ※図書やWebからの情報だけではNG!
 - 調査方法(現場訪問・見学、インタビュー、行事への参加、アンケート 他)
 - 調査期間(いつまでに調査を完了させるのか、調査の順序は？行事の開催時期は？他)
 - 役割分担を決める(グループ活動の場合)
- ②現地調査の計画を立てる

Point

- 今までの研究・説明はどうなっているかを知っておく
- ・最終的にどのようにまとめたのか
- ・レポートの目次も大まかに考えながら計画してみる

step 4 現地調査を開始しよう

- 最重要ポイント** 図書やWebの情報だけではNG。フィールドワーク「歩く・見る・聞く・考える・まとめる」を行うこと
- ①Step3の計画を基に、現地に行って自ら情報収集を行う
 - 見学、インタビュー、写真撮影など、出来るだけ詳細に記録する
 - ②調査結果を整理する

Point

- 対象の現地、現物に自ら足を運んでみよう
- ・現地に行き見てわかったことはもちろん、感じたことや疑問に思ったことも書き留めておく
- ・調査・情報に不足は無いかなを確認

step 5 レポートの目次を立てよう

- ①どのようにまとめるのかを再検討する
- ②目次を立てる中で、「何を言いたいのか」明確にする

Point

- 課題から逸れずに「何を言いたいのか」を明確にする

step 6 レポートを作成しよう

- ①自分だけ分かってダメ！「何を言いたいのかわかる」が重要
 - 課題を明確に伝える
 - 調査結果の要点をしっかりと押さえる
 - 写真や図表を効果的に使う
 - 納得できる根拠を持った意見
- ②第三者に読んでもらい、意見を聞いてブラッシュアップしよう

Point

- 課題に基づいた調査内容と結論が合致しているか
- ・調査結果の中から、レポートに必要な情報はどれなのかを取捨選択する

step 7 今後の課題

- ①今回の調査で新たに分かったことに加え、今後の疑問点、問題点を挙げて次につなげよう

自分が体験したことや、身のまわりにある伝承文化を挙げてみよう

各部門の受賞作品紹介

地域文化 研究部門



2020 最優秀賞 [個人]

屋久島民謡「まつばんだ」を後世に伝える方法
鹿児島県立屋久島高等学校 寺田 雅さん



2019 最優秀賞 [団体]

イチイからとどる「飛騨のなりたち」—飛騨の伝承文化に学ぶ—
岐阜県立益田清風高等学校 地域研究

地域民話 研究部門



2020 最優秀賞 [団体]

民話の伝承と古代下野国における交通網の関係～地域の民話から史実を探る～
栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会



2019 最優秀賞 [個人]

日本人と「桜」の伝説について
愛媛県立西条高等学校 砂野 光咲さん

学校活動 部門



2020 最優秀賞 [団体]

幻のRib-arch ～年代特定と名称発見～
福岡県立朝倉高等学校 史学部



2020 最優秀賞 [個人]

わたしたちの蔵の街！先人が伝える不変の伝統工芸品を次世代へ～幸作帯地が創る新たなビジネスプロジェクト～
栃木県立栃木農業高等学校 農業環境部地域デザイン班



2020 最優秀賞 [個人]

「石鏡黒茶」伝統文化の未来
愛媛県立西条農業高等学校 石鏡黒茶SELプロジェクトチーム

作品と受賞者の声はオンラインで公開しています！

<https://www.koukouseishinbun.jp> 「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

